

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域福祉への支援活動

りゅうぎんユイマール助成会では、平成25年度から助成先選定方法を推薦方式から一般公募方式へ変更しており、今年度は21団体へ助成金を贈呈しました。

その他、社会福祉活動にかかわる法人及び団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」や「一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団」の事務局としてその運営に携わっています。

また、どなたでも安心して銀行窓口をご利用いただけるよう、携帯助聴器（耳にあてることでかんたんに利用できる集音器）、杖ホルダー（杖や傘を立てかけるホルダー）、コミュニケーションボード（聴覚障がいのお客さまが希望される取引や手続きを手で指し示し、行員に用件を伝えることができるボード）を全店に配置しています。

CSR(企業の社会的責任)活動

小学生の適切な社会知識の習得を目的に、毎年、夏休み期間中に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しており、11回目となる今回は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を学習する「経済教室」や、科学や環境に興味を持ってもらうことを目的に「サイエンス教室」を開催しました。

また、当行創立65周年記念事業として、大学生向け「りゅうぎんアントレプレナー支援セミナー」を開催しました（アントレプレナー＝企業家）。

平成25年10月に普通預金通帳を「人と環境に優しい通帳」に改定しました。今回改定した通帳はメディアユニバーサルデザイン(MUD)となっており、MUD協会から、「この通帳は、できるだけ多くの方に見やすいよう配慮し制作されている」との認証を受けています。また、カーボンオフセットと植林や計画伐採などで適切に管理された森林の木材を使用した製品であることを証明するFSC森林認証を取得した通帳となっています。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成、ならびに紅型デザインの新しい領域の追及を目的として、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

第22回となる今回は、天願千恵さんの作品「母ガメの想い」が大賞を受賞しました。入賞作品については、琉球銀行のカレンダーや通帳、広報物等として広く活用されます。



宇流麻福祉基金



りゅうぎんキッズスクールの様子(サイエンス教室)



りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から300万円の募金が集まった場合、銀行も300万円を拠出し、合計600万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、346件、1億4,867万円となりました。（平成25年9月30日現在）